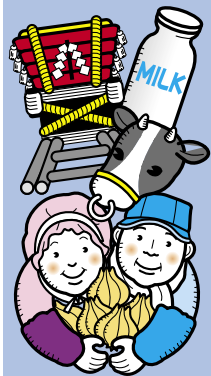


まちかどトピックス

地域の催しや明るい話題などが
ございましたら、気軽に広報係
までご連絡ください。
☎43・5003(情報課)



おめでとう

兵庫県表彰 (敬称略)

◆兵庫県自治賞

安田勲司 (北阿万)
安田さんは、南あわじ交通安全協会金賞部長として、地域ドライバの交通安全意識高揚と交通事故防止に率先して取り組み、また夜間の事故防止対策として夜光反射材の普及や飲酒運転を根絶する運動に積極的に取り組みられています。

◆このとり賞

伊藤令子 (沼島)
沼島愛育班員として、給食サービスの手伝いや高齢者への声かけなどを行っています。

北川豊子 (賀集)

南あわじ交通安全協会女性会副支部長として、交通安全に取り組み、指導しています。

寺岡とし子 (福良)

淡路地区漁協女性部員として、公園、海浜等の清掃活動や声かけ運動に取り組んでいます。

西下貞江 (福良)

南あわじ市更正保護女性

手作りの子どもだんじりが完成

榎列下幡多で子どもだんじり完成式典



▲完成しただんじりを引いて歩く子どもたち

榎列下幡多の地区住民らで作る「子どもだんじり製作実行委員会」では、県の助成を受け、昨年九月からだんじりの製作に着手し、このほど完成しました。

これを祝って二月十七日、下幡多八幡神社で完成記念式典が行われ、住民ら百五十人が出席。長さ五・五m、幅二・二m、高さ三・二mの立派なだんじりが披露されました。また榎列・二宮保育所園児による合唱や、三原中学校吹奏楽部の演奏、獅子舞なども披露され、華を添えました。



▲松苗を植樹する生徒たち

自動車や二輪車のカギは必ずかけましょう

南あわじカギかけ草の根運動推進協議会発足

無施錠による盗難被害を防ごうと「南あわじカギかけ草の根運動推進協議会」の発足式が、二月十四日南あわじ警察署で行われました。

県下で街頭犯罪が減少傾向にあるものの、市内では自宅内でカギをかけずに車や自転車、オートバイから離れ、その間盗難被害に遭われる方が後を絶ちません。その防止に

は、カギかけの習慣づけが大切です。そこで、市内の関係機関や団体・学校などが連携協力してそれぞれの立場から被害の実態を報告し、カギかけの習慣を呼びかけて、盗難防止に繋げることを目的として今回発足されたものです。

今後、普段から集まる機会をとらまえ、地道に呼びかけていきます。



▲各関係機関・団体の役員が参加して行われた協議会の発足式

松苗を卒業記念に植樹

御原中学校3年生

3月末に御原中学校を卒業する3年生82人が1月31日、慶野松原に松苗を植樹しました。この松苗は、総合学習の一環として、故郷の財産である国立公園「慶野松原」を守ろうと、入学時から種を植え、自分たちで大切に3年間育てられたものです。

当日、生徒たちは、地元のボランティア団体「慶野松原を美しくする会」の会員から植え方を教わった後、立派に育ってほしいと願いを込めながら、一つひとつ丁寧に植えていました。

おいしかった玉葱うどん

北阿万保育所園児が更正保護女性会と交流

二月五日、北阿万地区更正保護女性会の七人と北阿万保育所の園児が、一緒に玉葱うどんを作って楽しく交流を深



▲園児と一緒にうどんをつくる女性会員



▲玉葱の皮をむく4歳児



▲できたうどんをおいしく食べる園児

を知ってもらうため行っただけです。

うどん作りでは、女性会の方の指導で、四歳児は玉葱の皮むき、年長児は玉葱を切りと、うどん生地の下準備のお手伝い。しばらくねかせていた生地を四・五

歳児が麺棒で伸ばしました。
できあがったうどんをみんなで一緒に食べて、園児は満面の笑顔をうかべていました。



▲救急救命士の説明を真剣に受ける団員の皆さん

大切な命を助けるAED

三原ライオンズクラブが市内2中学校に寄贈

地域に根ざした奉仕活動を行っている三原ライオンズクラブが、このほど三原、倭文両中学校にAED(自動体外式除細動器)を寄贈。その贈呈式が二月六日、三原中学校に同会員や教員、PTA役員など約五十人が参加して行われました。

式で平岡督朗会長が「AEDを使いこなせてこそ大切な命を助けられる。有効利用してください」と挨拶。中田勝

久市長は「公共施設にAEDの設置は進んでいるが、まだ小中学校は万全でないのので、今後普及に努めたい」と述べました。

また、淡路人形浄瑠璃の保存伝承に励んでいる三原中学校郷土部に、同クラブから活動助成金も手渡されました。

続いて、淡路広域消防南淡分署員の指導でAEDを使った講習会を実施。参加者は熱心に実技を行っていました。



▲左から三原LC豊田事業委員長、平岡会長、辻川三原中学校長、長尾倭文中学校長

災害に備え救護訓練

南あわじ市赤十字奉仕団

大規模災害に備え、救護活動の充実と団員の防災意識向上をめざして、南あわじ市赤十字奉仕団(奥井光子委員長)では2月16日、西淡保健センターで実践訓練を行いました。この日は団員37人が参加。淡路広域消防の救急救命士から、心肺蘇生法とAEDの使用方法などを学びました。谷口博文西淡出張所長は、もしもの時、お互いに助け合って救命活動にあたってくださいと挨拶。この後団員は、実際にAEDを使って熱心に講習を受けていました。

ひょうご県民ボランティア活動賞 志知高校が受賞

志知高校のボランティア部と郷土芸能部が、地域のボランティア活動を称えるひょうご県民ボランティア活動賞を受賞しました。

ボランティア部は、視覚障害高齢者のお散歩介助、知的障害者との交流、独居老人への手紙など、幅広い活動を行っています。

また郷土芸能部は、だんじり唄「岸壁の母」「玉三三」を伝承し、老人ホームなどの訪問や、地域行事に積極的に参加しています。